

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	総合的な学習の時間の指導法					授業形態	講義		
科目コード	421170	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人								
授業概要	<p>授業の到達目標及びテーマ 総合的な学習の時間は、これからの社会において特に必要とされている諸能力を育てる科目である。具体的には、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。</p> <p>この科目は、従来の教科教育などにおける知識偏重ではなく、実践的な能力を育てることに主眼が置かれる特徴がある。これは、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え資質を育てる。そのために本科目では、実社会・実生活の課題を探究する学びを行っていくのである。これらを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を授業を通して身に付ける。</p> <p>このため、以下の項目を目標として設定する。</p> <p>(1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。</p> <p>(2) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。</p>								
関連する科目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程受講資格審査において合格となった学生であること。 2. 2年前期までの教職課程開講科目（教職課程履修要項別表7）について履修し単位を修得していること。 3. 2年前期の学科専門科目のうち必修科目は単位修得していることが望ましい。 4. 今後の履修科目を考慮して教養科目・学科開講科目の履修状況を良好としておくことが望ましい。 5. 本科目履修後は、教職課程履修要項に基づいて履修をすること。 								
授業の進め方と方法	本授業は、講義形式で実施する。一部の回では、受講者をグループ分けし、グループディスカッションや課題発表を予定している。これにより受講生が主体的に学ぶようにする。								
授業計画【第1回】	第1回：はじめに～将来を支える子供たちに育てるべき力とは何か？～ 総合的な学習・探求の時間が必要な背景について考える。								
授業計画【第2回】	第2回：「総合的な学習・探求の時間」の歴史と意義～社会課題と導入、教育的な意義の理解～ 総合的な学習・探求の時間の意義や原理を理解する。								
授業計画【第3回】	第3回：学習指導要領における「総合的な学習の時間」Ⅰ～基本的事項および基礎となる小学校、各教科（道徳含む）・各種教育活動（特別活動など）との関わりなど～ 学習指導要領における基本的な事項、小学校からの継続性、他教科との関連性について理解する。								
授業計画【第4回】	第4回：学習指導要領における「総合的な探求の時間」Ⅱ～中学校および高校～ 総合的な学習・探求の時間について中学校・高校の学習指導要領の規定について理解する。								
授業計画【第5回】	第5回：探求的な学習のあり方Ⅰ～探求的な学習とな何か（テキスト：第1編第1章・第2章）～ 総合的な学習・探求の時間の基本となる探求的な学習の意義や方法について理解する。								
授業計画【第6回】	第6回：探求的な学習のあり方Ⅱ～探求的な活動の方法（テキスト：第1編第2章）～ 総合的な学習・探求の時間の基本となる探求的な学習の方法における留意事項について理解する。								
授業計画【第7回】	第7回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅰ～全体計画について（テキスト：第2編第1章・第2章）～ 総合的な学習・探求の時間の全体計画の意義や計画手法について理解する。								
授業計画【第8回】	第8回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅱ～年間指導計画について（テキスト：第2編第3章）～ 総合的な学習・探求の時間の年間指導計画の意義や計画手法について理解する。								
授業計画【第9回】	第9回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅲ～単元計画について（テキスト：第2編第4章）～ 総合的な学習・探求の時間の単元計画の意義や手法（学習指導案作成を含む）について理解する。								
授業計画【第10回】	第10回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅳ～評価について（テキスト：第2編第5章）～ 総合的な学習・探求の時間の評価の意義や手法について理解する。								
授業計画【第11回】	第11回：総合的な学習・探求の時間の指導のあり方Ⅴ～体制づくり・環境づくり（テキスト：第2編第6章）～ 総合的な学習・探求の時間の実施体制や環境整備について理解する。								
授業計画【第12回】	第12回：総合的な学習・探求の時間と関連分野Ⅰ～現代における諸課題について考える～ 総合的な学習・探求の時間に関連する事項、今回は現代社会における諸課題や関連する学術分野について理解する。								
授業計画【第13回】	第13回：総合的な学習・探求の時間と関連分野Ⅱ～環境教育を考える～ 総合的な学習・探求の時間に関連する事項、今回は環境教育（環境問題、SDRs・ESDも含む）について理解する。								
授業計画【第14回】	第14回：総合的な学習・探求の時間と関連分野Ⅲ～地域学・地域振興への視点～ 総合的な学習・探求の時間に関連する事項、今回は地域学習（地域学）・地域振興との関わりについて理解する。								
授業計画【第15回】	第15回：まとめ～新しい時代の教育と「総合的な学習の時間」～ 総合的な学習の時間についてまとめる								

授業の到達目標	<p>総合的な学習の時間は、これからの社会において特に必要とされている諸濃色を育てる科目である。具体的には、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。</p> <p>この科目は、従来の教科教育などにおける知識偏重ではなく、実践的な能力を育てることに主眼が置かれる特徴がある。これは、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え資質を育てるも。そのために本科目では、実社会・実生活の課題を探究する学びを行っていくのである。これらを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を授業を通して身に付ける。このため、以下の項目を目標として設定する。</p> <p>(1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 (2) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。 (3) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。</p>								
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)								
授業時間外の学修【予習】	予習を行うこと(各1時間) 授業事前課題を準備しておくこと(各1時間)								
授業時間外の学修【復習】	復習を行うこと(各1時間) レポートなどの作成について準備しておくこと(各1時間)								
課題に対するフィードバック	レポートについては、返却する。この際に評価のポイントなどを簡潔に説明する。提出物・グループワークは、上記返却時に評価のポイントを説明する。テストは、終了後に解説を行い、後日答案の返却をする。								
評価方法・基準	<p>訂正後<2022年5月訂正> 下記の様に評価を訂正いたします。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">授業毎の感想文</td> <td style="text-align: right;">4点×15回=60点</td> </tr> <tr> <td>課題</td> <td style="text-align: right;">10点</td> </tr> <tr> <td>授業への取組(発表など姿勢を評価する・グループワークへの参加を含む)</td> <td style="text-align: right;">10点</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td style="text-align: right;">20点</td> </tr> </table> <p>グループワークの課題については、欠席の場合でも提出すること。 上記評価方法なので、再試は行わないので注意すること。</p> <p>訂正前 中間レポート 20点×3 課題(グループワークなどの提出物) 10点×2 授業への取り組み(発表など姿勢を評価する・グループワークへの参加を含む) 20点</p> <p>グループワークの課題については、欠席の場合でも提出すること。 上記評価方法なので、再試は行わないので注意すること。</p>	授業毎の感想文	4点×15回=60点	課題	10点	授業への取組(発表など姿勢を評価する・グループワークへの参加を含む)	10点	レポート	20点
授業毎の感想文	4点×15回=60点								
課題	10点								
授業への取組(発表など姿勢を評価する・グループワークへの参加を含む)	10点								
レポート	20点								
テキスト	<p>訂正後<2022年5月訂正> 3)について、下記のように訂正します。 中学校編が発行されたので、中学校編を使用します。中学校編は、冊子形式で販売されておりデータ形式で無償配布されています。各自で、下記のサイトから入手してください。 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/20220426-mxt_kouhou02-2.pdf</p> <p>訂正前 1. 中学校学習指導要領、中学校学習指導要領解説(総合的な学習の時間編)(最新版) 2. 高等学校学習指導要領、高等学校学習指導要領解説(総合的な探求の時間編)(最新版) 3. 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編 2021/9/28)</p> <p>書籍として発行しているもの以外に、いずれも電子媒体で文部科学省が公開している。電子媒体をタブレットなどで閲覧するのか、購入するかは各自の自由とします。 3については、シラバス作成段階では小学校版しか公開・公表されていない。後期開講科目のため9月までに中学校編が公開された場合はそちらを使用するので注意願いたい。</p>								
参考書	総合的な学習の時間(新しい教職教育講座 教職教育編) 原清治・春日井敏之・篠原正典・森田真樹 平成29年改訂 中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間 単行本 田村 学 小学校学習指導要領、小学校学習指導要領解説(総合的な学習の時間編)(最新版)								
備考									